

東京都母体救命搬送システムの概要

東京都母体救命搬送システム

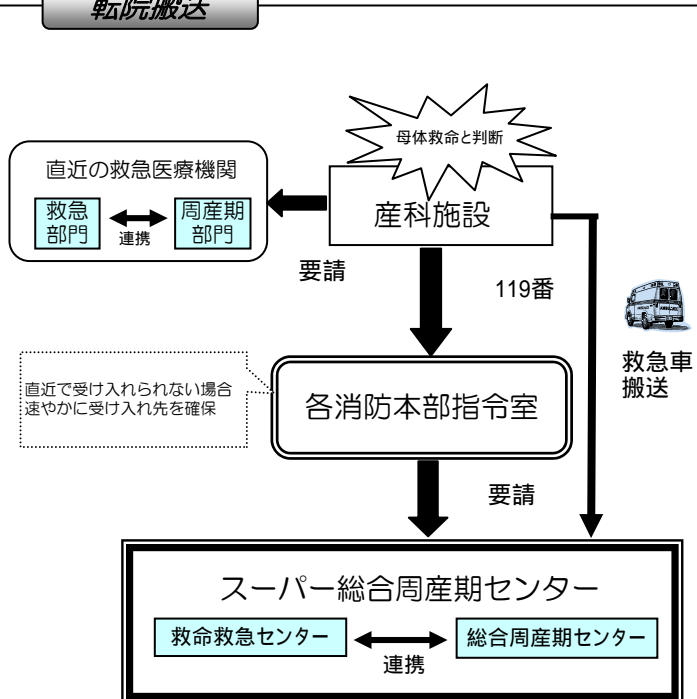
脳卒中や出血性ショックなど重症な疾患により緊急に母体救命処置を必要とする妊婦等が、近くの救急医療機関等で受入れが決まらない場合に、都内3か所の「スーパー総合周産期センター」が必ず受け入れることで、受入先の選定にかかる時間をできるだけ短縮し、迅速に診療を受けられるようにするシステム。

※ 本システムの対象となるのは、脳卒中や出血性ショックなど重症な疾患により、緊急に母体救命処置を必要とする妊産褥婦。（「母体救命搬送システム対象症例表」と「疾病観察カード」等を参考に判断）

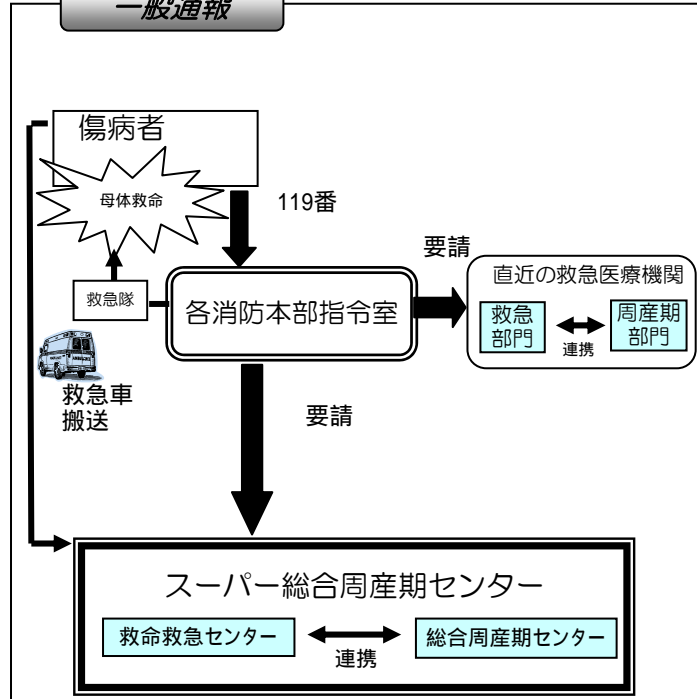
スーパー総合周産期センター

- ・ 昭和大学病院
- ・ 日本赤十字社医療センター
- ・ 日本大学医学部附属板橋病院

転院搬送



一般通報



母体救命搬送システム対象症例表

以下の疾患等の妊産褥婦で、緊急に母体救命処置が必要なもの

- 妊産褥婦の救急疾患合併
 - ①脳血管障害
 - ②急性心疾患(心不全,虚血性心疾患等)
 - ③呼吸不全(肺血栓塞栓症,肺水腫,重症気管支喘息等)
 - ④重症感染症,敗血症性ショック
 - ⑤重症外傷(交通外傷等),熱傷
 - ⑥多臓器機能障害・不全(肝不全,腎不全,薬物中毒等)
- 産科救急疾患(重症)
 - ①羊水塞栓症
 - ②子癇,妊娠高血圧症候群重症型
 - ③HELLP症候群,急性妊娠脂肪肝
 - ④出血性ショック(前置癒着胎盤,弛緩出血,重症産道損傷等)
 - ⑤産科DIC(常位胎盤早期剥離等)
- 重篤な症状(診断未確定)
 - ①意識障害
 - ②痙攣発作
 - ③激しい頭痛
 - ④激しい胸痛
 - ⑤激しい腹痛
 - ⑥原因不明のバイタルサイン異常

以上を呈し重篤な疾患が疑われる症例
- その他1~3に準ずるもので緊急に母体救命処置が必要なもの

緊急に母体救命処置が必要な重症度の判断にあたっては、「疾病観察カード」を参考とする。対象は、妊娠初期から産褥入院期間までの患者